

提出 順番	No. 6	令和 7 年 11 月 20 日 午前・ <u>午後</u> 4 時 48 分受領
----------	----------	--

令和 7 年 11 月 20 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 小田 新紀 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
中学校部活動の地域展開における方向性について	本町においては少子高齢化・人口減少が進む中で、中学校の部活動をこれまでと同じ形で維持していくことが年々難しくなっています。生徒数の減少により、単独校ではチーム編成が困難な種目が出てきているほか、教職員の数も限られる中で、種目数や指導体制の確保や働き方改革との両立も大きな課題となっています。 こうした状況を踏まえ、国においては令和 7 年 10 月「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の骨子が示され、学校と地域が連携・協働しながら、生徒が安全に継続してスポーツや文化芸術活動に取り組める環境づくりを求めています。 道内・管内各自治体においては、大きな改革に試行錯誤しながらも継続的に議論を重ねているところであり、本町においても、部活動の地域展開の在り方を検討するため「幕別町部活動地域移行検討委員会（以下「検討委員会」という。）」が設置され、今年度も予算措置が講じられています。しかしながら、この検討委員会は約 1 年近く開催されておらず、各委員からも開催を望む声が継続して上がっているところでもあります。 また、地域展開の具体的な方向性やモデルが定められていないことから、現場の教職員の間では、「今後どのような形になるのか」「何を前提に部活動の運営や部員募集を行えばよいのか」「そもそもの見識が間違っていた」などといった不安や混乱も生じている状況が続いています。

	中学校部活動の地域展開は、単なる部活動の受け皿探しではなく、子どもたちの地域スポーツ・文化芸術活動の機会の拡大や、地域全体で子どもたちを豊かに育む仕組みづくりに直結する重要なテーマであります。本町教育委員会としての基本的な考え方と現在の進捗状況、さらには、検討委員会の位置付けと今後の進め方を確認するため、以下の点を伺います。 1 地域展開を進めるにあたっての将来像として、「どのような町の姿、子どもたちの姿」を目指しているのか。 2 本町における地域展開のメリット・デメリットは。その上での町の支援について、どのように整理しているのか。 3 検討委員会が、開催されないことについての見解と今後のプランは。 4 これまで行われた教職員への情報提供や説明についての内容は。
--	---

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。